日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	音楽基礎2（音楽理論）

科目基礎情報

開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	２単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				

担当教員情報

担当教員	金澤法皇、末光篤	実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン

学習目的

音楽理論の基礎をしっかり身につける。記号の書き方、音符の長さなどの基本から、スケール、音程までは最低でもしっかりと理解し、楽譜をきっちりと読めるようにする。また、自身の曲を書く学生は、自身の曲の譜面を書けるようにする。

到達目標

様々な基本用語を覚え、実際の実習で活かせるようにする。また、様々な手法を駆使して、自身のオリジナル楽曲にいかせるようにする。既存曲も自身で楽曲分析を出来るようにする。

教育方法等

授業概要	出来るだけ少人数制のグループで授業を行い、理解に合わせて授業を進めていく。授業開始にはかならず復習の小テストを行い、何度も繰り返し行う事によって、丁寧に指導をすすめ徹底して理解させる。
注意点	理解度の高い学生と、そうでない学生との差が大きいため、上手くそれぞれに合わせた授業内容で進めていく。理解できていない学生には別途、個人レッスンをおこない、とりこぼしのないように進めていく。授業時数の４分の３以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価方法	種別	割合	備考
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する
	成果発表（口頭・実技）	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

授業計画（１回～１５回）

回	授業内容	各回の到達目標
１回	ダイアトニックコードの基本	Cを中心にしたダイヤトニックコードの習得
２回	機能について	ダイアトニックの機能について理解する
３回	スケール+ダイアトニックコード	ダイアトニックとスケールとのかかわりについて理解する
４回	スケール上のコード	スケール上のコードネームについて理解する
５回	移動ドについて	ディグリーについての理解
６回	ダイアトニックコード	G,Dの#２つまでのダイヤトニックコードを理解する
７回	キーＣの３コードの理解	Cキーにおける３和音を中心にしたコードの理解
８回	#２つまでの理解（G，D）	G,Dの#２つ、F，B♭の♭２つまでのコードの理解
９回	#4つまでの理解（A，E）	A,Eの＃２つ、E♭、A♭の♭２つまでのコードの理解
１０回	キーＣの４つの和音	ｃを基準にした４和音を中心にしたコードの理解
１１回	セブンスについて	セブンス、メジャーセブンスコードの理解
１２回	ダイアトニックの４和音	ダイヤトニックコードにおける４和音の理解
１３回	ダイヤトニックコード２	コードを理解したうえで再度ダイアトニックの確認
１４回	複雑なダイヤトニックコード３	# ♭５つまでのダイアトニックの確認
１５回	まとめ	前期のまとめテスト